

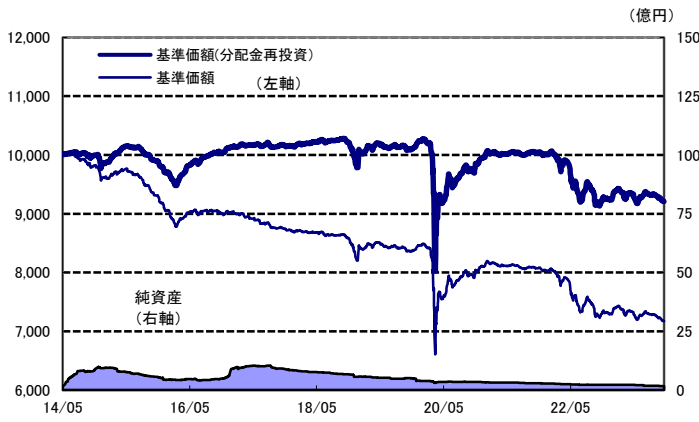


運用実績

2023年10月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化; 日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 7,171円

※分配金控除後

純資産総額 1.7億円

- 信託設定日 2014年5月13日
- 信託期間 2023年11月20日まで
- 決算日 原則、毎月19日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1カ月	-0.6%
3カ月	-1.4%
6カ月	-1.4%
1年	0.5%
3年	-5.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2023年10月	10円
2023年9月	10円
2023年8月	10円
2023年7月	10円
2023年6月	10円

設定来 -7.9%

設定来累計 2,200円

設定来=2014年5月13日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目録見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

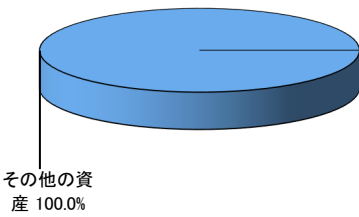
資産内容

2023年10月31日 現在

業種別配分(対純資産比)

格付別配分(対純資産比)

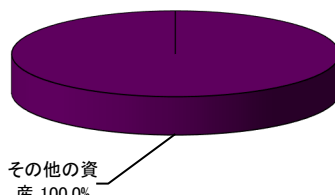
ポートフォリオ特性値



その他の資産 100.0%

・業種はS&P分類によります。

・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当該ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。



その他の資産 100.0%

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。

平均スプレッド	-
平均直利	-
平均最終利回り	-
平均最終利回り(為替ヘッジ後)	-5.3%
平均デュレーション	-
平均残存年数	-

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入ローン等の各特性値(スプレッド、直利、最終利回り、デュレーション、残存年数)を、その組入比率で加重平均したものを、米ドル建て。・平均最終利回り(為替ヘッジ後)は、為替ヘッジコスト/プレミアムを反映し、表示しています。・デュレーション: 金利がある一定割合で変動した場合、バンクローン等の価格がどの程度変化するかを示す指標。・一般にバンクローンのクーポンは変動金利となっており、同年限の固定利付債と比較すると、市場金利変動による取引価格の変動幅が相対的に小さくなる傾向にあります。

組入上位10銘柄

2023年10月31日 現在

銘柄	業種	格付	純資産比
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
合計	-	-	-

組入銘柄数: 0銘柄

・業種はS&P分類によります。
・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。
・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当該ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

(出所)ドイツ銀行グループ提供資料等を基に野村アセットマネジメント作成

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

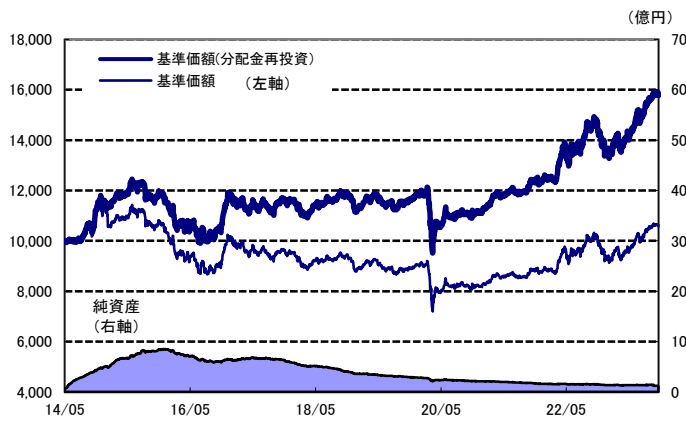


運用実績

2023年10月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化;日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 10,577円

※分配金控除後

純資産総額 11.6億円

- 信託設定日 2014年5月13日
- 信託期間 2023年11月20日まで
- 決算日 原則、毎月19日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1カ月	-0.2%
3カ月	5.7%
6カ月	12.4%
1年	7.0%
3年	43.9%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2023年10月	25円
2023年9月	25円
2023年8月	25円
2023年7月	25円
2023年6月	25円

設定来 57.7%

設定来累計 3,825円

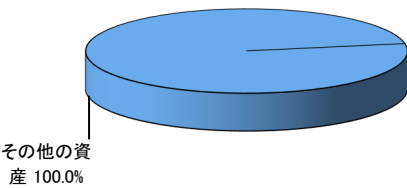
設定来=2014年5月13日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2023年10月31日 現在

業種別配分(対純資産比)

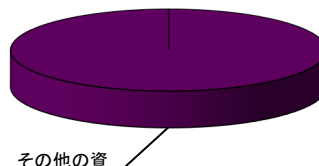


その他の資産 100.0%

・業種はS&P分類によります。

・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

格付別配分(対純資産比)



その他の資産 100.0%

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。

ポートフォリオ特性値

平均スプレッド	-
平均直利	-
平均最終利回り	-
平均デュレーション	-
平均残存年数	-

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入ローン等の各特性値(スプレッド、直利、最終利回り、デュレーション、残存年数)を、その組入比率で加重平均したものの、ミドル建て。・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、バンクローン等の価格がどの程度変化するかを示す指標。・一般にバンクローンのクーポンは変動金利となっており、同年限の固定利付債と比較すると、市場金利変動による取引価格の変動幅が相対的に小さくなる傾向にあります。

組入上位10銘柄

2023年10月31日 現在

銘柄	業種	格付	純資産比
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
合計	-	-	-

組入銘柄数: 0銘柄

・業種はS&P分類によります。
・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。
・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

(出所)ドイツ銀行グループ提供資料等を基に野村アセットマネジメント作成

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みメモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

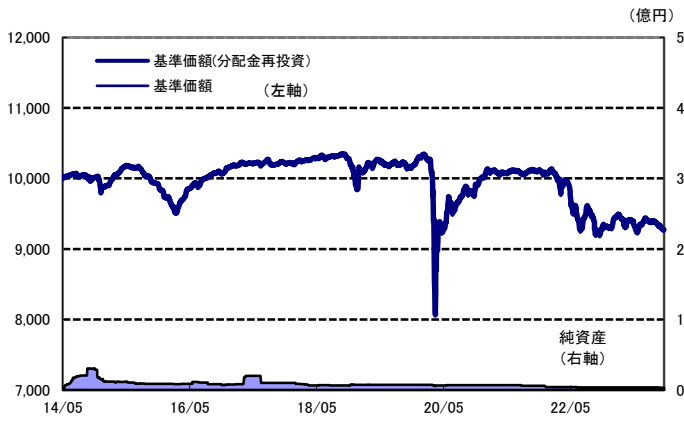


運用実績

2023年10月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化; 日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 9,244円

※分配金控除後

純資産総額 0.3億円

- 信託設定日 2014年5月13日
- 信託期間 2023年11月20日まで
- 決算日 原則5月、11月の各19日(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1カ月	-0.6%
3カ月	-1.4%
6カ月	-1.4%
1年	0.5%
3年	-5.0%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2023年5月	0円
2022年11月	0円
2022年5月	0円
2021年11月	0円
2021年5月	0円

設定来 -7.3%

設定来累計 30円

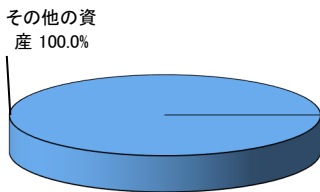
設定来=2014年5月13日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2023年10月31日 現在

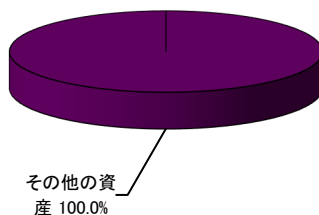
業種別配分(対純資産比)



・業種はS&P分類によります。

・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当該ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

格付別配分(対純資産比)



・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。

ポートフォリオ特性値

平均スプレッド	-
平均直利	-
平均最終利回り	-
平均最終利回り(為替ヘッジ後)	-5.3%
平均デュレーション	-
平均残存年数	-

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入ローン等の各特性値(スプレッド、直利、最終利回り、デュレーション、残存年数)を、その組入比率で加重平均したものを、米ドル建て。・平均最終利回り(為替ヘッジ後)は、為替ヘッジコスト/プレミアムを反映し、表示しています。・デュレーション: 金利がある一定割合で変動した場合、バンクローン等の価格がどの程度変化するかを示す指標。・一般にバンクローンのクーポンは変動金利となっており、同年限の固定利付債と比較すると、市場金利変動による取引価格の変動幅が相対的に小さくなる傾向にあります。

組入上位10銘柄

2023年10月31日 現在

銘柄	業種	格付	純資産比
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
合計	-	-	-

組入銘柄数: 0銘柄

・業種はS&P分類によります。・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当該ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

(出所)ドイツ銀行グループ提供資料等を基に野村アセットマネジメント作成

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

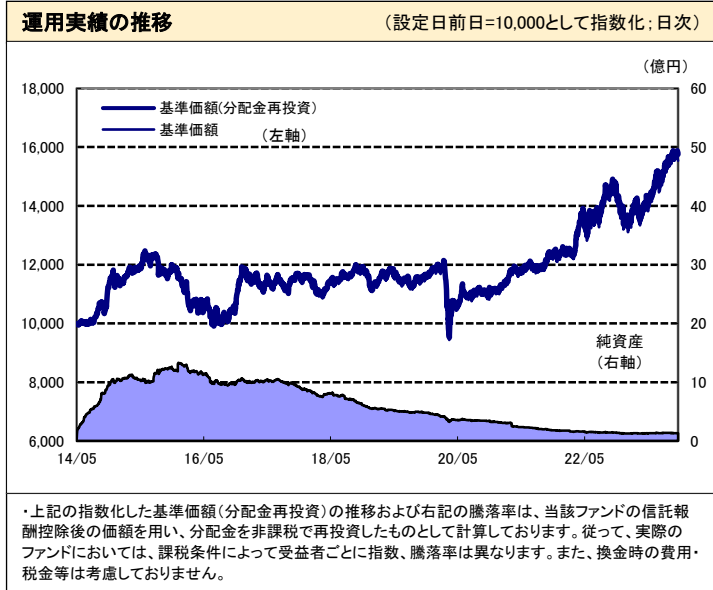
◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



運用実績

2023年10月31日 現在



基準価額※	15,535円
※分配金控除後	

純資産総額	1.3億円
-------	-------

- 信託設定日 2014年5月13日
- 信託期間 2023年11月20日まで
- 決算日 原則5月、11月の各19日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率	
期間	ファンド
1か月	-0.2%
3か月	5.6%
6か月	12.3%
1年	7.0%
3年	43.7%

分配金(1万円当たり、課税前)の推移	
2023年5月	10円
2022年11月	10円
2022年5月	10円
2021年11月	10円
2021年5月	10円

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	57.5%
-----	-------

設定来累計	160円
-------	------

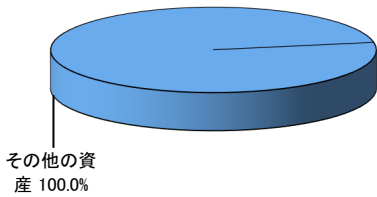
設定来=2014年5月13日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目録見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2023年10月31日 現在

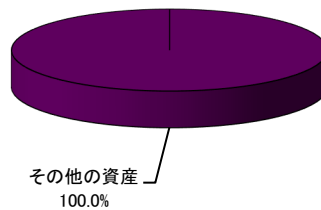
業種別配分(対純資産比)



・業種はS&P分類によります。

・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

格付別配分(対純資産比)



・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。

ポートフォリオ特性値

平均スプレッド	-
平均直利	-
平均最終利回り	-
平均デュレーション	-
平均残存年数	-

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入ローン等の各特性値(スプレッド、直利、最終利回り、デュレーション、残存年数)を、その組入比率で加重平均したものを、ドル建てで、デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、バンクローン等の価格がどの程度変化するかを示す指標。・一般にバンクローンのクーポンは変動金利となっており、同年限の固定利付債と比較すると、市場金利変動による取引価格の変動幅が相対的に小さくなる傾向にあります。

組入上位10銘柄

2023年10月31日 現在

銘柄	業種	格付	純資産比
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
合計	-	-	-

組入銘柄数: 0銘柄

・業種はS&P分類によります。
・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。
・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

(出所)ドイツ銀行グループ提供資料等を基に野村アセットマネジメント作成

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。))で、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

USバンクローンファンド

為替ヘッジあり(毎月分配型)／為替ヘッジなし(毎月分配型)
 為替ヘッジあり(年2回決算型)／為替ヘッジなし(年2回決算型)

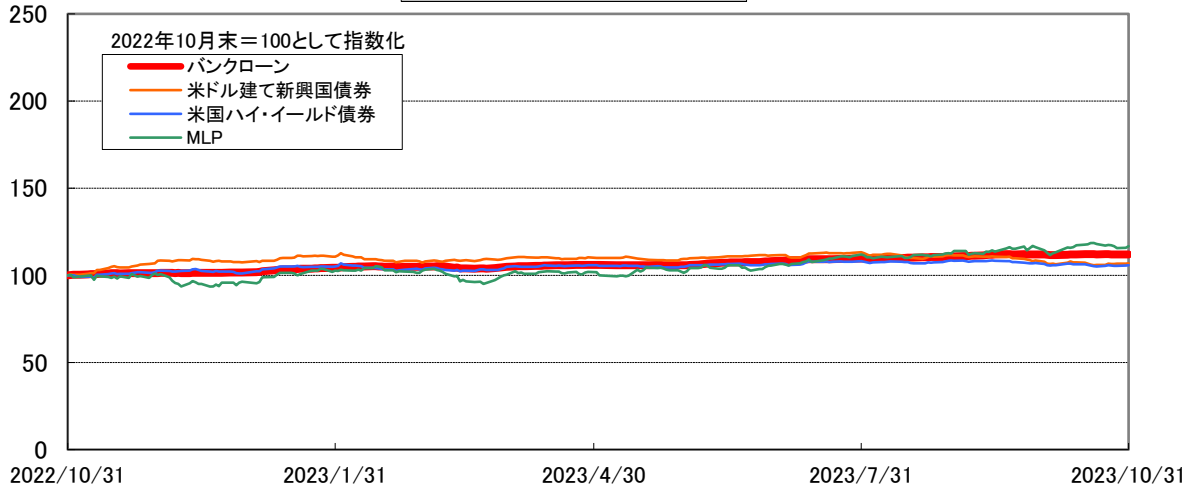
2023年10月31日
 (月次改訂)



追加型投信／海外／その他資産(金銭債権)

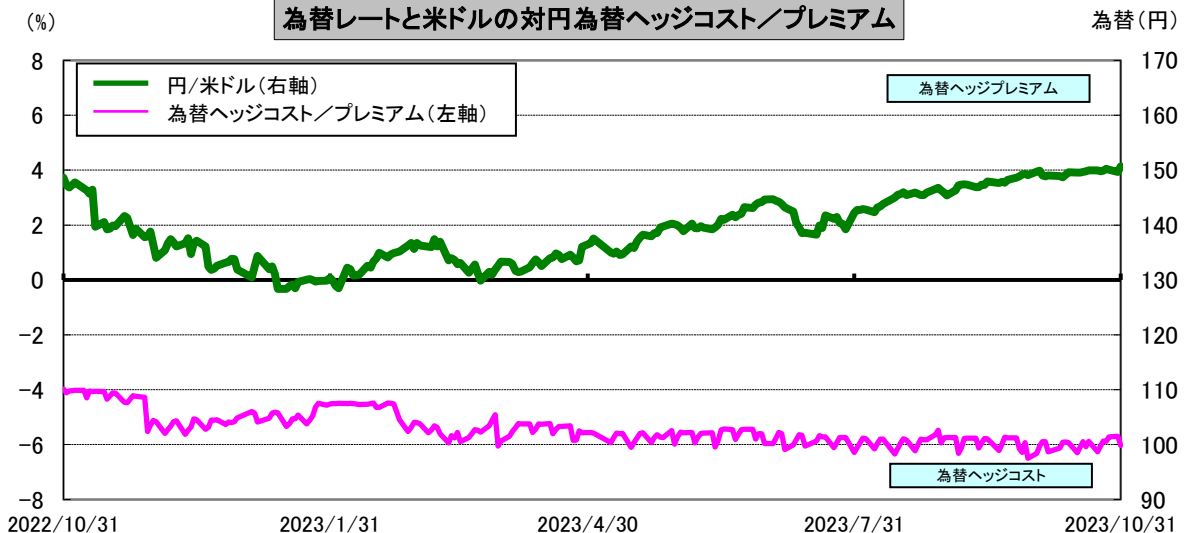
バンクローンと各資産の指数(米ドルベース)および為替レートと米ドルの対円為替ヘッジコスト／プレミアム(日次) 2023年10月31日 現在

バンクローンと各資産の指数



・出所:ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成
 バンクローン: Morningstar LSTA米国レバレッジド・ローン・インデックス
 米ドル建て新興国債券: JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル
 米国ハイ・イールド債券: ICE BofA US High Yield Constrained Index
 MLP※: Alerian MLP Index(配当込み)
 ※MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)とは、米国で行なわれている共同投資事業形態の1つで、米国の金融商品取引所(NYSEやNASDAQ等)で取引されています。
 ・JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(JP Morgan Emerging Market Bond Index Global)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表しているエマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。
 ・「ICE BofA US High Yield Constrained Index SM[®]」は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社(「ICEデータ」)の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。
 ・Alerian MLP Indexは、Alerianの商標であり、当該インデックスに関する全ての権利はAlerianに帰属します。
 ・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

為替レートと米ドルの対円為替ヘッジコスト／プレミアム

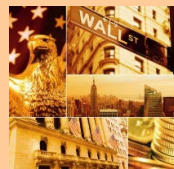


・出所:ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成
 ・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



先月の投資環境

○10月のバンクローン市場は、主に機関投資家が投資対象とするCLO(バンクローン等を担保資産とする証券化商品)の発行額は9月を上回りました。個人投資家については、資金流出となりました。代表的なバンクローンの指数であるMorningstar LSTA米国レバレッジド・ローン指数のリターンは、FRB(米連邦準備制度理事会)による金融引き締め長期化観測が高まったことなどが重石となったものの、月次ベースのリターンは小幅にプラスとなりました。また格付別のパフォーマンスは、BB格、B格、CCC格の順に高いものとなりました。

○米国10年国債利回りは、上旬は9月の米ISM製造業景況指数が市場予想を上回り、米景気の底堅さが意識されたことなどから、利回りは上昇(価格は下落)しました。中旬には、中東情勢の緊迫化を受け利回りが低下(価格は上昇)する局面がありましたが、9月の米CPI(消費者物価指数)や米小売売上高が市場予想を上回り、FRBによる金融引き締めが長引くとの観測が広がり、利回りは上昇しました。下旬は、9月の米PCE(個人消費支出)価格指数のコア指数の前年同月比の伸び率が8月から低下し、米国のインフレが鈍化基調にあるとの見方から利回りが低下する局面もありましたが、利回りは月間で上昇となりました。

○ドル・円相場は、月間でほぼ変わらずとなりました。上旬は、中東の地政学的リスクの高まりから市場のリスク回避姿勢が強まったことを受け、円高・ドル安となりました。中旬は、9月の米CPIの上昇率が市場予想を上回り、FRBによる金融引き締め長期化が意識されたことなどを背景に、円安・ドル高となりました。下旬は、7-9月期の米実質GDP(国内総生産)の速報値が市場予想を上回ったことを受け円安・ドル高となる局面もありましたが、その後は日本政府・日銀による為替介入への警戒感などから円高・ドル安に推移しました。

○米国株式市場は月間では下落となりました。上旬から中旬にかけて、各種の経済指標から景気の強さが意識され、FRBによる更なる金融引き締めが懸念される一方、米国債利回りが上昇を続ける中で複数のFRB高官が追加利上げの必要性が薄れていると言及したことなどが好感され、ほぼ変わらずとなりました。下旬は、米下院議長選挙での選出遅れによる混乱や、大手IT企業の決算において先行き不透明感が強まったことなどから、下落しました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は、為替ヘッジあり(毎月分配型)、為替ヘッジあり(年2回決算型)については、各々-0.55%、-0.57%となりました。一方、為替ヘッジなし(毎月分配型)、為替ヘッジなし(年2回決算型)については、各々-0.16%、-0.17%となりました。

○8月下旬より、償還に向けて保有するバンクローンの売却を進めており、10月末には全ての資産の売却が完了致しました。

今後の運用方針 (2023年10月31日現在)

○当ファンドは、11月20日に信託の終了日(定時償還日)を迎えます。

これまでのご愛顧、誠にありがとうございました。なお、マンスリーレポートは今月をもちまして最終となります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行なうことを基本とします。
- 米ドル建ての企業向け貸付債権(「バンクローン」といいます。)を実質的な主要投資対象*とします。なお、米ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)等に実質的に投資する場合があります。
※「実質的な主要投資対象」とは、投資信託証券を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ファンドは、分配頻度、為替ヘッジの有無の異なる、4本のファンドで構成されています。
 - ◆「為替ヘッジあり」は、外貨建資産について、為替ヘッジを行なうことを基本とし、「為替ヘッジなし」は、外貨建資産について、為替ヘッジを行なわないことを基本とします。
- ファンドは、米ドル建てのバンクローンを主要投資対象とする投資信託証券(投資信託および外国投資信託の受益証券(投資法人および外国投資法人の投資証券を含みます。))および残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資します。
- 投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。なお、通常の場合においては、米ドル建てのバンクローンを主要投資対象とする投資信託証券への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
※通常の場合においては、米ドル建てのバンクローンを主要投資対象とする投資信託証券への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- 投資信託証券への投資にあたっては、指定投資信託証券の中から、定性評価、定量評価等を勘案して選択した投資信託証券に投資を行なうことを基本とします。なお、組入投資信託証券については適宜見直しを行いません。
 - ◆指定投資信託証券は、定性評価、定量評価等を勘案して適宜見直しを行いません。この際、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券が指定から外れる場合や、新たな投資信託証券が指定投資信託証券として指定される場合があります。

■指定投資信託証券である外国投資信託「ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンド
(日本円為替ヘッジクラス/日本円クラス)」の投資方針等

外国投資信託「ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンド」の運用は、野村アセットマネジメント株式会社(投資顧問会社)およびDWS インベストメント・マネジメント・アメリカズ・インク(副投資顧問会社)が行ないます。

- ・米ドル建てのバンクローンを主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行なうことを基本とします。なお、米ドル建てのハイ・イールド・ボンド*等に投資する場合があります。
※格付機関によってBB格相当以下の格付が付与されているもの(格付のない場合には同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)をいいます。
- ・バンクローンへの投資にあたっては、原則として、弁済順位が高く、かつ担保が設定されたバンクローンに投資を行ないます。また、主として、取得時において格付機関によってBB格相当以下の格付が付与されたもの(格付のない場合には同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)に投資を行ないます。
- ・日本円為替ヘッジクラスは、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
- ・日本円クラスは、組入外貨建資産について原則として為替ヘッジを行ないません。

※上記指定投資信託証券は2023年8月17日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

- ファンドは、複数の投資信託証券(ファンド)を投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。
- 「USバンクローンファンド」を構成するファンド間でスイッチングができます。
- 「毎月分配型」は、原則、毎月19日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。「年2回決算型」は、原則、毎年5月および11月の19日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



投資リスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、バンクローン等に実質的に投資する効果を有しますので、信用度の変動等によるバンクローン等の価格下落等により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、債券価格変動リスクなどがあります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2023年11月20日まで(2014年5月13日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月19日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、毎年5月および11月の19日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 構成するファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.1%(税抜年1.00%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 ^{※2} 年1.7675%程度 ^{※1} (税込) 注1 投資対象とする投資信託証券の純資産総額等によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。 注2 ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は、2023年8月17日現在のものであり、指定投資信託証券の変更等により今後変更となる場合があります。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時・スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社>

野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社>

株式会社りそな銀行

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についての確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



分配金に関する留意点

● 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



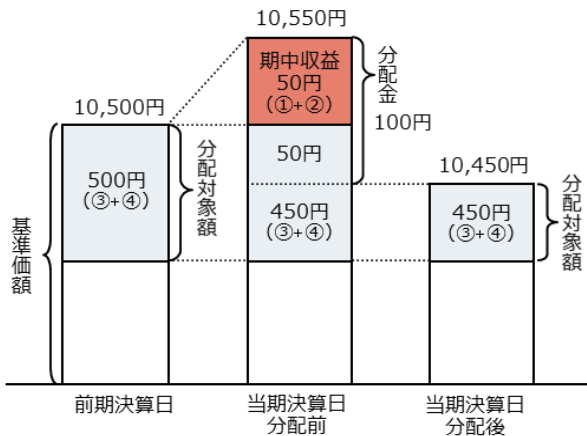
● ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

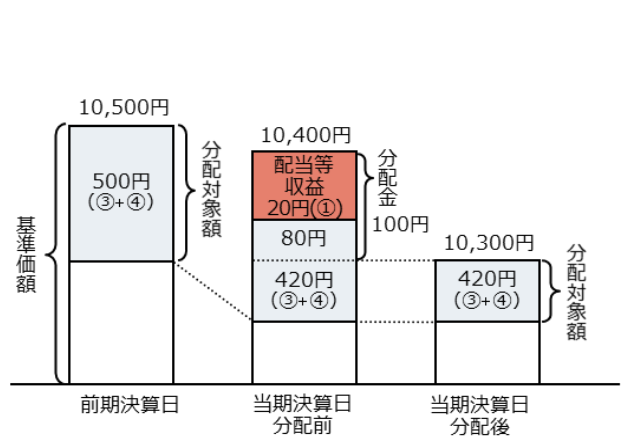
※ 分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合



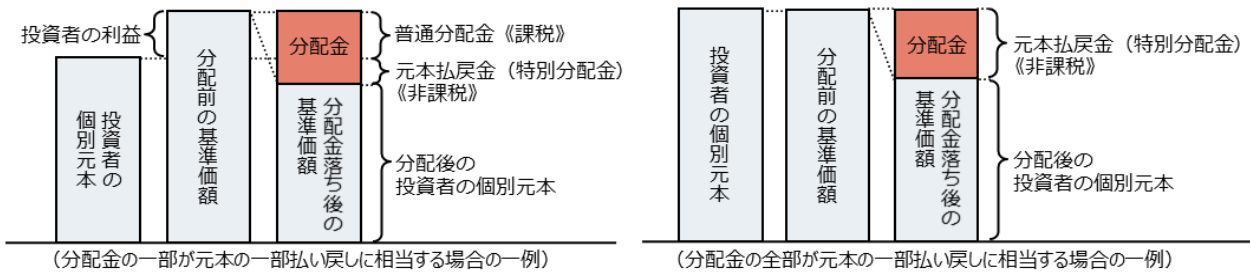
前期決算から基準価額が下落した場合



● 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
元本払戻金(特別分配金)	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

◆ 投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についての確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆ 設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

USバンクローンファンド 為替ヘッジあり(毎月分配型)／為替ヘッジなし(毎月分配型)
USバンクローンファンド 為替ヘッジあり(年2回決算型)／為替ヘッジなし(年2回決算型)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○	
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○		○	
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。